（第２号様式）（用紙日本工業規格Ａ３横長型）
神奈川県教育委員会教育長　殿

提出日：平成 30 年４月 20 日
学校名：県立横浜緑園高等学校

平成 30 年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	３年間の目標 （平成 29 年度策定）	１年間の目標	取　組　の　内　容 具体的な方策	評価の観点	校　内　評　価 達成状況	課題・改善方策等	学校関係者評価 （　月　　日実施）	総合評価（　月　　日実施） 成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の資質・能力を向上させる教育課程編成と大学進学等の進路希望を実現させる学習指導及び授業改善に組織的に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動の促進や自己肯定感・連帯感の涵養を図る。また、自己の個性を生かしつつ、他者を尊重し、協働する態度を育てる。	①生徒の資質・能力の向上や進路希望を実現させるための適切な教育課程の編成、生徒の学力向上を促す効率的な学習指導の工夫について、計画的・組織的な授業改善に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な活動の促進や自己肯定感・連帯感の涵養を図る。また、自己の個性を生かしつつ、他者を尊重し、協働する態度を育てる。	①１）単位制普通科の教育課程について、生徒の実態や進路希望調査の結果をふまえて、教科、関係グループ及び年次間の連携を密にしながら、より適切な編成及び運用を工夫する。 ①２）学習指導について、計画的な補習・講習等を通して、基礎・基本の定着を図るとともに、発展的な学習の機会をより多く提供する。 ①３）生徒の学力向上を促す学習指導の工夫について、教科の枠を越えた小グループで、生徒の変化に着目しながら、ＰＤＣＡサイクルをふまえて研究する。また、その成果を学校全体で共有する。 ②生徒会役員や各種委員会との連携を密にし、生徒の企画や意見を諸行事に反映できるように心がける。また、行事運営に際して主体的に活動していく中で他者を尊重する態度や協働する姿勢を醸成していく。	①１）生徒の進路希望の実現につながる、教育課程の編成及び運用ができたか。 ①２）補習・講習等を含め、発展的な学習の機会を昨年度以上に提供することができたか。（補習・講習の開講数・受講生徒数） ①３）学校全体で組織的な授業改善に取り組むことができたか。（研究授業・協議の開催数） ②１）生徒会役員との定期的な連絡・調整会議の開催や生徒による自主的・積極的な行事への参加がなされたか。 ②２）各種行事後のアンケート実施を通して充実感が得られたか。					
2	生徒指導 ・支援	①規範意識を涵養し、規律ある態度を育成する。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。 ③部活動の活性化を図り、生徒の充実感や達成感による、自己肯定感・責任感・協調性の涵養を図る。	①地域や学校など、集団の中で責任ある行動が取れるようにする。 ②相談窓口など、教育相談体制を周知するとともに、外部資源を積極的に活用した対応をすすめる。 ③部活動の活性化を図り、生徒の充実感や達成感による、自己肯定感・責任感・協調性の涵養を図る。	①全校集会やLHR 等を活用した啓発活動及び各ケースに対応した指導を展開する。 ②全校集会・年次集会等での説明周知とともに、掲示物などを積極的に活用する。 ③部活動オリエンテーションや部活動紹介、体験入部などをプログラムを通して、入部しやすい環境を設定する。 また、顧問会議等を通じて２年次以上の生徒には部活動継続を促すように働きかける。	①指導における振り返り内容や、日常生活の様子で規範意識が向上したか。 ②面談指導やアンケートの実施により、生徒意識は変化したか。また、実施ケースの他機関への接続や指導内容が向上したか。 ③入部率を上げることができたか。2 年次以上の生徒の部活動定着率を維持することができたか。					
3	進路指導 ・支援	進路への自覚を深め、社会的に自立することをめざし、生徒一人ひとりの可能性を高め、広げる進路指導を展開する。	①最後の総合学科生の進路支援をしっかりと行うとともに、単位制普通科の進路支援体制を確立していく。 ②自己啓発活動の定着を図る。	①総合学科連携講座の紹介と参加を促し、学校外の学びの支援体制を継続する。 ②新しい入試の情報を幅広く入手し、常に対応を検討していく。また、実力テストを活用して、進学意識を高めていく。 ②自己啓発活動については、多角的な広報活動を通して、生徒の参加を増やしていく。	①総合学科連携講座について丁寧なガイダンスと履修指導の体制が取れたか。 ②進路・キャリア支援グループの中で情報を共有し、全体に発信できたか。希望者対象の模擬試験の受験者が増えたか。 ②自己啓発活動への取り組み状況が向上したか。					

4	地域等との協働	地域の教育力を活用した教育活動を推進する。 また、本校の教育活動を積極的に発信し、また地域へ貢献する活動を行う。	①地域の教育を活用した教育活動を推進する。 ②本校の魅力や特色、教育活動を積極的に発信することによって、地域に信頼される学校づくりを実行する。	①校外ボランティア活動や各地域の自治体の要請に応える中で、地域との連携を図り、生徒の行事参画意識を醸成していく。 ②１）学校説明会で本校の単位制普通科と特徴について、生徒スタッフの活躍の場を設定し、中学生やその保護者、地域に向けて発信する。 ②２）ホームページによって、本校の教育活動を円滑に発信できるよう校内環境を整備していく。	①地域連携や地域との協働を通じて自己肯定感や達成感を得ることができたか。アンケートや報告書などを通じて充実感が得られたか把握する。 ②１）学校説明会で本校の特色を効果的に伝えることができたか。（アンケート） ②２）ホームページの円滑な更新に向け、校内環境の整備ができたか。 （ホームページの更新月3～4回以上）					
5	学校管理 学校運営	①安全・安心な学校環境や学習環境の整備を進める。 ②すべての職員が教育環境の変化に迅速に、また、グループ・年次の枠を越えて、チーム一丸となって課題に対応する学校文化を形成する。 ③事故・不祥事の防止を徹底し、地域から信頼される学校づくりに努める。	①１）普通科への移行を受けて、教室の改編と整備を進める。 ①２）災害発生時の初動体制の構築を進め、地域との連携の在り方について検討していく。 ①３）防災訓練の充実と災害時の対応のための準備の確立を図る。 ③私費会計の標準化を図り、事故防止に努める。	①１）自習室の有効利用、福祉室の改編などを進め、同時に教室内の机椅子の入れ替えを計画的に行う。 ①２）初動マニュアルの作成に向けて、具体的な検討を進める。また、地域との連携を図る。 ①３）避難訓練の内容の充実、防災カードの作成方法の再検討、ＤＩＧ（図上訓練）の拡大などより多くの機会をつくる。 ③私費会計に関する書式の標準化を図り会計処理の研修を行う。	①１）自習室の利用方法の確立、福祉室の有効転用、南棟の机・椅子の入れ替えが十分なされたか。 ①２）初動マニュアルの作成準備が達成されたか。 ①３）帰宅班編成時に防災カードの作成と活用ができる訓練体制が確立されたか。また、ＤＩＧの参加人数を増やすことができるか。 ③私費会計に関する書式の標準化が図れたか。					